

# 金澤八幡宮

# ぼんでん奉納

2月18日に横手市の金澤八幡宮で、ぼんでん奉納が行われました。美郷町と横手市の児童生徒による子どもぼんでんに続き、美郷町から参加した前郷・森先地区と石神地区の男衆が威勢良く雪の坂道を駆け上がり、冬景色に映える色鮮やかなぼんでんを奉納して五穀豊穡と家内安全を祈願しました。



■前郷・森先地区の若衆



■石神地区の若衆

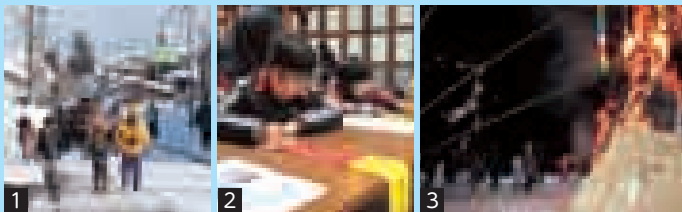
■鳥居前に集まった色とりどりのぼんでん。各地区の若衆がぼんでんを片手に担いだり、腰に寄せたりして技を競い合いました。

## 福島県と茨城県の子どもたちが美郷町の冬を満喫!

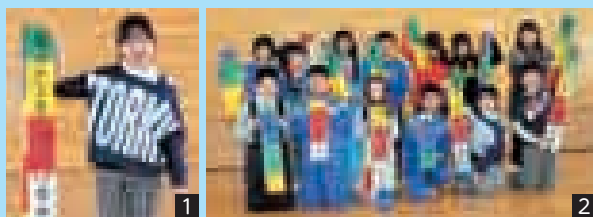
### 福島っ子と美郷っ子の交流

2月11日から12日までの2日間、福島県の小学生とその保護者20名が美郷町を訪れ、地域の小正月行事や雪遊びを通して美郷町の子どもたちとの交流を深めました。この交流は、東日本大震災で被災した福島県の子どもたちに雪国での遊びを楽しんでもらおうと、秋田県と美郷町が企画したものです。

福島の子どもたちは、町内児童と一緒にカマクラ畑を見学した後、天筆書きに挑戦し、学力向上や家内安全など思い思いの願い事を書きました。また、夜には上畑屋地区で行われた“どんど焼き”に参加し、自分で書いた天筆を燃やしました。このほか、「美郷まんま」「美郷たぬ中」などのご当地料理づくりを体験するなど、2日間の日程で町内児童たちとの交流を楽しみました。



①天筆に彩られた町内を散策する子どもたち ②天筆書きに挑戦 ③上畑屋地区の“どんど焼き” ④美郷の子どもたちと一緒に記念撮影



①願い事は「友達大切」 ②全員で記念撮影。「願い事が叶うのを楽しみに待ってます」

### 茨城県かすみがうら市との歴史学習交流

2月2日から4日までの3日間、茨城県かすみがうら市立志筑小学校の4年生児童12名が美郷町を訪れ、本堂城址の見学や天筆づくりを通して美郷町の歴史と文化を学びました。今年はインフルエンザの影響で町内児童たちとの交流はできませんでしたが、千畑南小学校の学校田で収穫された餅米で餅つきをしたり、後三年スキー場で雪遊びをするなど、美郷町の冬を満喫しました。

3月は「自殺対策強化月間」です

# 「こころ」といのちを 考えよう

平成22年の秋田県の自殺者数は358人で、前年と比較して58人減少しました。しかし、人口10万人当たりの自殺者数は33・1人と、依然として高い状態にあります。ここ美郷町も例外ではありません。このような背景のひとつに、少子高齢化が進む中で地域での結びつきが希薄になり、悩みごとを抱える人が孤立するという現状があります。

3月は進学や就職、異動などの環境変化により、体調を崩しやすい季節でもあります。このような忙しい時期だからこそ、自分自身の健康管理はもちろん、家族や職場、近所同士でいつもよりも声をかけあってみましょう。

## 相談できる場所が 身近にあります

### 相談窓口

美郷町役場福祉保健課(美郷町保健センター)

☎0187(84)4900

※随時、相談に応じています。

### ふれあい相談

美郷町社会福祉協議会では、毎週水曜日にふれあい相談を実施しています。週ごとに会場が異なります。詳しくはお問い合わせください。

日時●毎週水曜日 午前10時～午後3時

問●美郷町社会福祉協議会

☎0187(85)2294

### コーヒーサロンてとて

気軽にお立ち寄りください。メンタルヘルスサポーターである「てととの会」の会員がお待ちしております。

日時●3月21日(水) 午前10時～午後2時

※毎月の開催日は広報美郷お知らせ版に掲載しています。

場所●南ふれあい館(旧山南交流センター)

問●美郷町保健センター ☎0187(84)4900

## メンタルヘルスサポーター養成講座

昨年11月から1月にかけて「メンタルヘルスサポーター養成講座」が開かれ、受講生23名が自殺の現状やうつ病の症状、心の健康づくりに関するボランティア活動の考え方などを学びました。メンタルヘルスサポーターとは、自殺予防活動の基礎的な知識と技術を身に付け、地域でボランティアとして活動する住民のことです。美郷町では、講座修了生の有志による「てととの会」が毎月1回、南ふれあい館でコーヒーサロンを開設し、地域の方々が気軽に立ち寄れる場所を提供しています。

## こころといのちを考える集い

1月29日に美郷町公民館で「こころといのちを考える集い」が開かれ、町民の皆さん約200名が日本笑い学会秋田県幹事の人星亭喜楽駄朗さんによるアカデミック漫談を楽しみました。笑いが体と心にもたらす良い影響を学び、笑いを通して心地よいリラクゼーションを体感してもらおうと行われたもので、「笑う力は生きる力」をテーマとしたユーモアあふれる漫談に会場は笑顔と笑い声で包まれました。集いでは漫談のほか、昨年8月に町内小中学校を通じて募集した「こころの俳句」の表彰式や入賞作品の朗読が行われ、人とのつながりや命の大切さを再認識する機会となりました。

## こころの俳句 入賞作品

町内小中学校から計491作品のご応募をいただきました。入賞作品は心の健康づくりに関する啓発活動に活用させていただきます。(敬称略)

### 【小学校の部】

#### 最優秀賞▼

ささえあいつながっていくそれが人

金沢小学校6年 高橋 天海

#### 優秀賞▼

つらいとき心にひびく友の声

金沢小学校6年 本庄 玲奈

「だいじょうぶ」その言葉がねあったかい

仙南西小学校6年 中田 咲夢

#### 優良賞▼

なやまないで一人じゃないよみんないる

金沢小学校5年 坂本 創也

きつと来るそのがんばりがかがやく日

金沢小学校5年 外山千鶴香

とどけようあすへのげんきむげんだい

金沢小学校4年 高橋 翔

### 【中学校の部】

#### 最優秀賞▼

あたたかいこの脈うつ手重ねあう

六郷中学校2年 能登谷大成

#### 優秀賞▼

うなずいてきてくれる温かさ

六郷中学校2年 藤本 麻田

hotする「だいじょうぶ」の一言で

仙南中学校3年 岡本 優毅

#### 優良賞▼

宝物たった一つのこの命

仙南中学校1年 一星 雅也

「また明日」君と一緒にいる日々

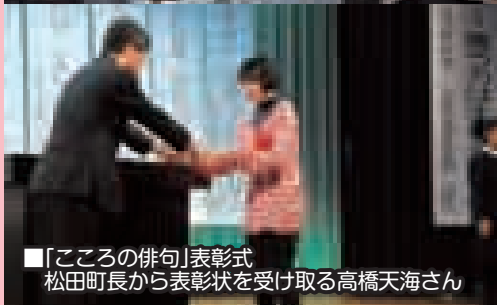
仙南中学校2年 高橋 燦奈

君の声聞いてあったかこの心

仙南中学校3年 高橋 萌乃



■「こころといのちを考える集い」  
人星亭喜楽駄朗さんの漫談で  
会場が笑顔に包まれました。



■「こころの俳句」表彰式  
松田町長から表彰状を受け取る高橋天海さん